

越生町女性・若者まちづくり会議  
意見書

令和4年10月

## はじめに

「越生町女性・若者まちづくり会議」は、女性や若者の視点からの意見等を町政に反映させることを目的に、設置されました。

私たち、女性委員 8 名、若者委員 11 名の合計 19 名は、令和 4 年 4 月から約半年にわたり、普段の生活で感じていることや、越生町のまちづくりに対する思いなどについて、自由に意見を述べ合いながら、議論を重ねてきました。

越生町が目指すべき町“人口減少に対応した持続可能なまちづくり”という大きな目標を達成するために、「梅によるまちのブランディング」、「移住・定住促進」、「まちの魅力の最大化」の 3 つのテーマを、グループに分かれて、私たちが思い描く、越生町の未来を考えました。

会議を通して、どうしたら町をもっと良くすることができるか、という思いを共有し、ユニークで独創的なアイデアを考案できたと感じています。

このたび、会議終了にあたり、これまで議論してきた内容をもとに、意見書を取りまとめました。この意見書には「女性」と「若者」の視点から出された、これからの越生町のまちづくりについてのヒントが含まれていると思っています。

今後のよりよいまちづくりに役立つことを願い、ここに提出します。

令和 4 年 10 月 越生町女性・若者まちづくり会議委員一同

## 目次

---

1. 町に対する思い	1
(1) 観光	1
(2) 経済	2
(3) 地域	2
(4) 公園・運動施設	3
(5) 子育て	3
(6) その他	4
2. 3つのテーマによる検討	5
3. テーマ1：梅によるブランディング	7
4. テーマ2：移住・定住促進	9
5. テーマ3：まちの魅力の最大化	11
6. 付属資料	13

# 1. 町に対する思い

---

委員が普段の生活で感じていることや、まちづくりに対する思いなど、自由に意見交換を行い、町の現状や課題、魅力やあるべき姿などを共有しました。

## (1) 観光

---

- 自然が豊かで魅力ある観光地が多い。
- 自然を生かしたアクティビティな遊び場がない。
- SNS での発信力が弱い、発信はするが認知度や集客力に結びにくい。
- ミツバツツジや黒山三滝などの観光名所が知られていない。
- 車がないと観光スポットに行けない。
- ホテルが見られる場所の案内があったほうが良い。
- BBQ 場の整備、釜戸の設置等、町が管理してほしい。
- プールはコロナ禍で県外の利用客でいっぱいとなり地元の子どもたちは怖くて利用できなかった。
- ハイカーのマナーが悪い。
- 河川敷にサウナを設置してサウナから川に飛び込めるようにするのもおもしろい。
- ニッチなものを探してアピール。ヒットする可能性も。
- トイレが少ない。ハイキングコース上にもなく店舗のトイレを利用する方も多い。

## (2) 経済

---

- 梅を活性化させたい。
- 西川材を越生の材として推していき、林業を盛り上げる。
- 企業努力、企業意識が高い。
- 梅干しは、高齢者向けのお土産には向かない。元気百梅は重い。
- 箱物のお菓子が無い。あんころ餅は人気だが個包装ではないため職場で配れない。
- 駅の空いているスペースを活用する。
- ハイキング者は越生でお金を使っていない。お金を使う仕組みが必要。
- ハイキングコースに食事処やコンビニが無い。

## (3) 地域

---

- 約 1 時間で都心に出られ、自然豊かな地域に住めるのは魅力的。
- 岩盤が強い。
- 子どもたちが率先してあいさつをする。
- 同年代の仲が良い。
- 街灯が暗い。
- 県道越生長沢線は、歩道が整備されていない箇所があり車との距離が近い。
- 高齢化が進んでいる。若い世代は他市町へ転出。
- 子ども向けのイベントが無い。
- 余所者を受け入れない。
- 町内の交通の便が悪い。
- 除雪と除草の対応が早い。
- 昔は、蛸の祭りがあった。イベントがあったら子どもも、大人も喜ぶ。

#### (4) 公園・運動施設

---

- 町内にバスケットゴールなどの運動施設がない。
- 駐車場がある公園がない。遊具を増やしてほしい。
- 児童公園と名があるだけで、遊具がなく、ボール遊びもできない。
- 高齢者が利用できる場所（グランドゴルフ場）が多い。子ども向け、芝生などの整備をしてほしい。

#### (5) 子育て

---

- 自然が豊かで子育てに向いている。
- 気軽に遊べる地元の公園（大満グラウンド河原）が観光地になってほしくない。
- 梅園地区にある公園は、自宅から自転車で行かせるのは危ない。
- 越生の子どもは信号を渡るのが早い。梅園の子どもは信号の渡り方が分からない。
- ここを子どもの故郷にしたい。
- 出生祝金はここ数年で充実。他、色々な施策がある。
- 給食費が子ども1人に付きそれぞれ手数料が取られるが世帯で1回にしてほしい。
- 給食費3人目の半額補助はあるが一度支払ってから返金する方法は見直してほしい。

## (6) その他

---

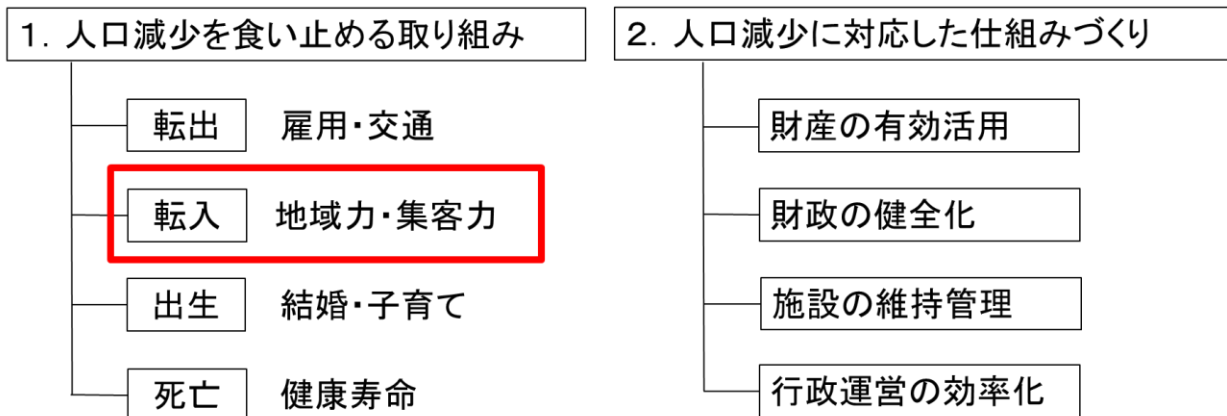
- 町を良くしていきたい意思が高い。
- 会議等の集まりは決まった人が多い。
- 住民でも町のことを知らない部分がある。
- 家を建てる土地がない。農地転用ができない。
- 高齢化率を考えると若い人が越生町に引っ越して来てほしい。
- 町には木がいっぱいある。木を使った商品ができれば良い。
- 空き家バンクの物件数が少ないが、町内には空き家が多い。
- 町の施策（結婚祝金等）が移住者にアピールされていない。
- 観光地と住む場所のメリハリがあると良い。
- 町の事業所に広報誌が送られてこない。

## 2. 3つのテーマによる検討

人口減少の進展に伴い、まちなかの活力の低下は、町全体の活力低下につながる重要な課題となっています。「人口減少に対応した持続可能なまちづくり」のテーマに基づき、人口減少対策のうち、転入による地域力・集客力を高める取り組みにフォーカスをあて、コンセプトを「青いダイヤがつなぐ“ひと”と“まち”」として、「梅によるまちのブランディング」、「移住・定住促進」、「まちの魅力の最大化」の3つのテーマを掲げました。委員は、グループにわかれ、全員からブレインストーミングにより多くのアイデアを持ち寄り、それらをもとに各グループで「越生の人口増につながる“夢”のあるアイデア」をまとめました。

### テーマ：人口減少に対応した持続可能なまちづくり

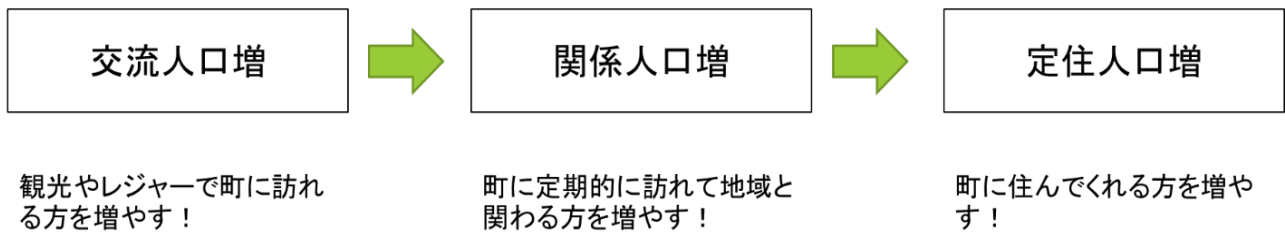
#### (1) 人口減少対策で転入にフォーカスをあてる





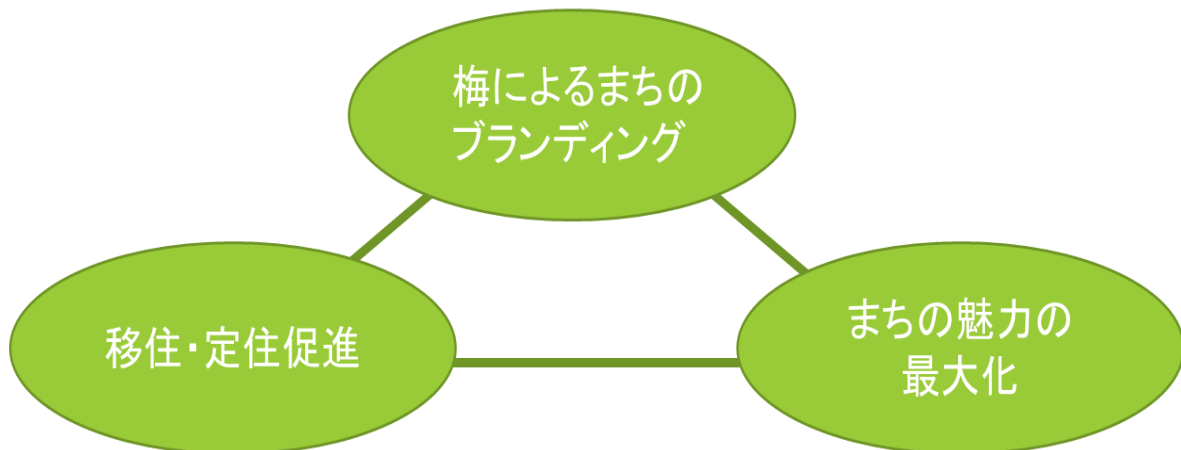
(2) 越生町に転入してもらうためには、越生町を知ってもらうことが重要

## 「越生町」を知ってもらう



(3) 3つのテーマから越生町の魅力をPRするための斬新なアイデアを創出

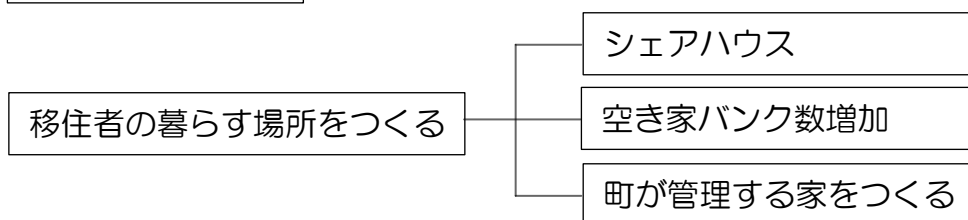
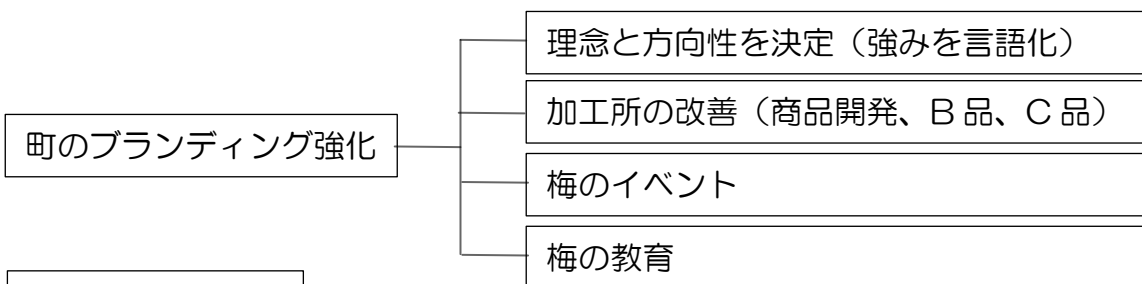
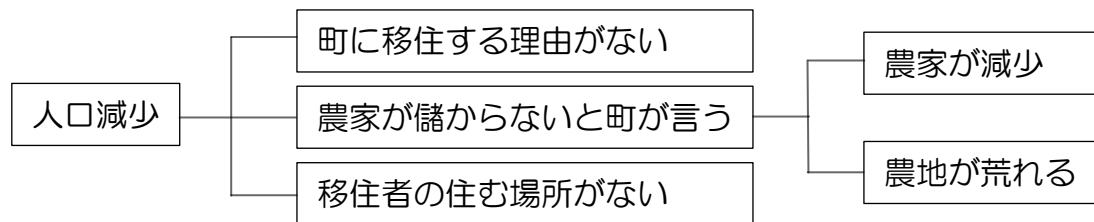
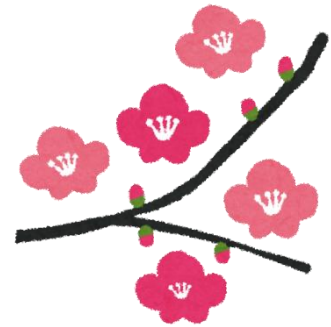
コンセプト：「青いダイヤ」がつなぐ“ひと”と“まち”



### 3. テーマ1：梅によるまちのブランディング

## “梅”を強みに人口増加

WHY	移住者の住む家がない
WHEN	来期
WHAT	移住者（農家）が一時的に暮らせる町管理のシェアハウス
WHO	就農者（移住者）
WHERE	梅林周辺
HOW	町職員



## 《説明》

『人口を増やさないと越生は成り立たない』ことを一番のゴールとして整理しました。一番の課題は、人口減少です。その課題を紐解いたとき、「移住する理由がない」、「農家が儲からない」、「移住者の住む場所がない」ことが大きな課題と考えました。

その中で、私たちは「梅」がテーマのため農家に絞って考えました。「農家が減少」することで更に「農地が荒れる」という課題です。その手段として「町のブランディング強化」、「現住民の意識改革」、「移住者の暮らす場所をつくる」ことに絞って考えました。

その中でも住む場所がないと人は動かないため、ハード面から考えていくことになりました。現状では空き家バンクなどがあるかと思うのですが、それらはあまりうまく回っていないと思えるため、みんなが暮らせるシェアハウスをつくれれば良いのではと考えました。

「移住者の住む家がない」を解決するために、「来期」、「移住者（農家）が一時的に暮らせる町管理のシェアハウス」を「就農者（移住者）」を対象に、「梅林周辺」に整備します。農家をターゲットとした理由は、農家は仕事をする上で農地が必要ですので、農地から近い場所に移住してくる方が多いと思います。農家を呼ぶことが定住に繋がる、すごく大きなメリットがあります。更に、移住してきた方に子どもが生まれ、農家の重要性を教えていきます。

また、新規就農者が移住したい、農業をやりたいという声は多くありますが、一時的に暮らせる家や、試してみたい方が住める場所がないのが一番の課題だと感じます。今ある空き家を使って町管理のシェアハウスみたいなものをつくっていただきたいというものです。

最後に、越生には特産品がある素晴らしさを、次の子どもたちにずっと伝えていく必要があると思います。越生には梅や梅ジュースがある。これらの特産品を子どもたちが持って帰り、それを見たときに私の田舎は梅農家だったな、梅に戻りたいな、となることがすごく必要だと感じます。新規就農者は、人口増加に必ず繋がると思います。ぜひ越生の梅を守るために新規就農者をたくさん受け入れ、これ以上荒れた農地を増やさない、梅は儲る、梅が儲からないとは一言も言わない、そんなふうにしていけたら良いなと思います。

## 4. テーマ2：移住・定住促進

### “おごせ Tiny House ビレッジ”

#### 課題

- ・土地がない
- ・物件がない
- ・仕事がない
- ・予算がない
- ・田舎暮らしがしたい
- ・気軽に移住したい

#### 解決策

おごせ Tiny House

ビレッジをつくる



#### 効果

- ・居住者増加
- ・越生町のPRにつながる
- ・魅力的な町になる

#### 活用例

- ・賃貸で貸す
- ・コワーキングスペース
- ・イベントスペース

## 《説明》

現在、空き家バンク制度がありますが、空き家が多い割には登録数が少なく、移住者に住む場所の提供ができずに人口が増加しないのではと考えました。そのため、海外ではタイニーハウスという文化がありますが、窓口の1つとして「おごせ Tiny House ビレッジ」を整備できたらと考えます。田舎暮らしがしたい、自然の中で暮らしたいと考える人が増えている中で、なかなか越生町を選択肢に入れてもらうことは少ないと感じ、まだまだ認知度が低いと思います。

タイニーハウスは、おしゃれで、気軽に住めることが良いところです。越生町で整備すれば、おしゃれで自然が豊か、都内に約1時間で行くことができ、安く借りられる施設ができることによって、移住・定住の促進を図ることができると考えます。

活用例としては、リモートワークをする方や起業を考えている方などにコワーキングスペース、ワーケーション、イベントスペースなどとして貸出します。

この計画の目的は人口を増やすことで、人口を増やすためにはどうしたらいいか考え、話し合った結果、先にタイニーハウスをつくってしまい、それをPRしたほうが良いのではないかとということになりました。教育の町、梅の町など町の魅力は後からついてくるものと思います。

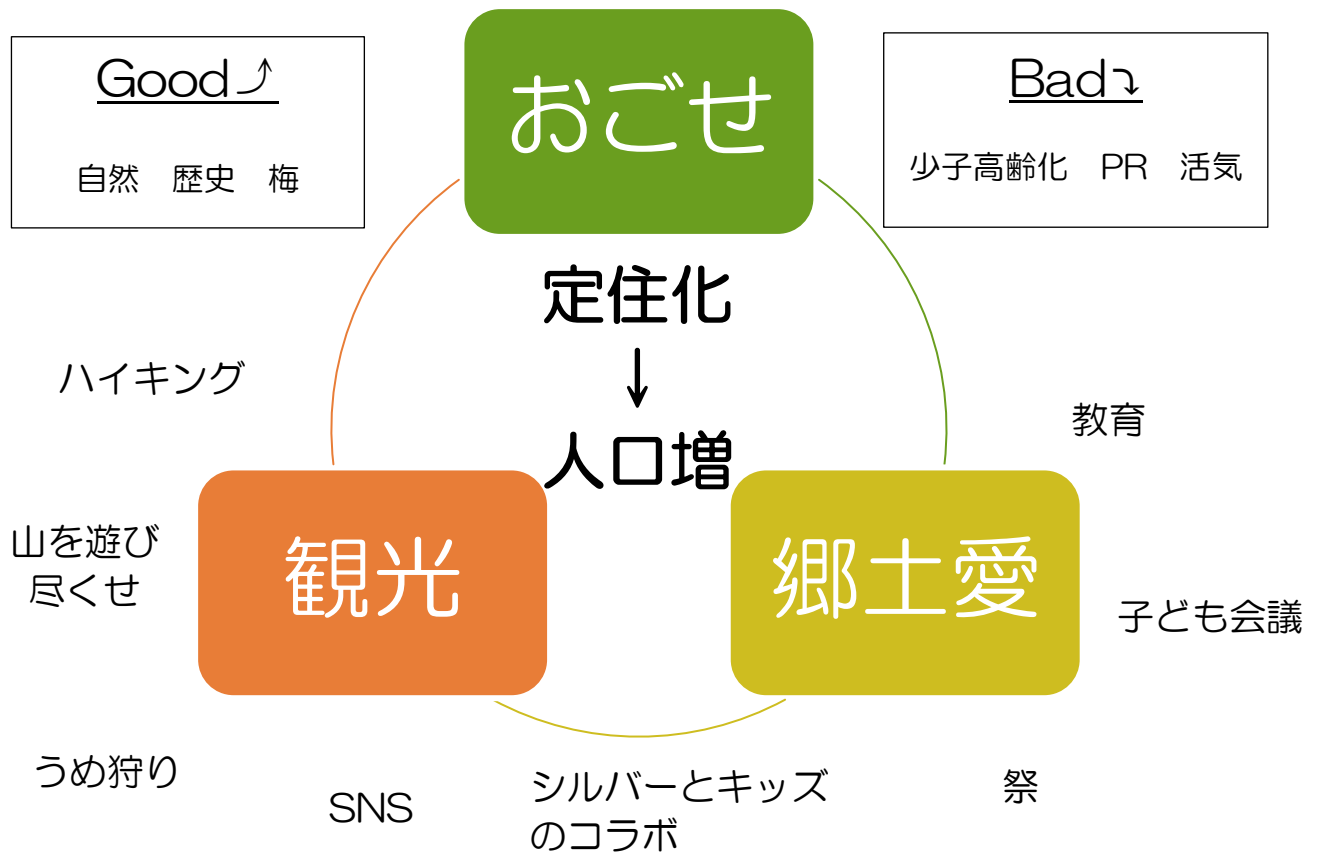
整備にあたっては町の予算が必要となったり、用地が必要であったりと様々な課題はありますが、まずは、越生にタイニーハウスをつくり、そこからお客さんを呼び、仕事を斡旋、事業者を呼び込み、商売をやってもらうなど、色々と循環させることができると考えます。

高校生までの医療費無料や教育の充実など、町でも様々な施策を行っていますが、対外的にまだアピールできていないことも移住してから良く分かるようにし、移住者を増やすために何をするか考える前にタイニーハウスをつくりアピールしようというのが私達の計画です。

最終的に全ては後からついてくる考えで、活用例にあるものも、話し合いの中で後から出てきたものですが、作ったらあんなことやこんなことが色々できる、それが定住に繋がる、越生町は楽しくて、素敵で魅力的な町になったら、定住にも繋がっていくのではないかと、と逆の発想で考えました。

## 5. テーマ3：まちの魅力の最大化

### おごせ割でカンパイ！



○梅ジューススタンド設置

○モバイルスタンプラリー

○子どもまちづくり会議



こども

高齢者

ビジター

みんな

## 《説明》

私たちが考えたのは循環、サイクルにより町の魅力を最大化させようというものです。

タイトルは「おごせ割でカンパイ！」。

越生町には特産である「梅」があります。梅酒、梅ソーダ、梅ジュースなど、様々な梅を使った製品がありますが、この「梅」というものを全て「越生」の名前に置き換えようというものです。飲食店で出す、梅酒割りを「おごせ割」、梅酒ソーダを「おごせソーダ」、梅ジュースを「おごせジュース」など、名前を全て統一し、町内の飲食店で出す商品の名前も全て統一します。それが「おごせ割」です。

町には、自然があつたり、歴史があつたり、梅があつたりと良いところがたくさんあります。一方で、少子高齢化や町のPR不足、活気が失われているなどの課題もたくさんあります。これらを解決するためには、「観光」では、外から来る人達が越生町は良いところと思ってもらえるように、山遊びや梅狩り、ハイキング、それらをSNSで発信するなどの施策が考えられます。

また、越生町に住んでいる人たちが外に出ていかないための策も重要で、小さい頃からの教育やお祭りなどで「郷土愛」を育みます。

このトライアングルによって、越生町に人が住み着き定住し、それがやがて人口増に繋がるものと考えます。

一例としては、越生駅の西口施設やうめその梅の駅などの町施設に「梅ジューススタンド」を設置すれば梅の町をPRすることが出来ると思います。また、町内の飲食店や観光地などに二次元バーコードを設置して「デジタルスタンプラリー」を行い、食事や観光をしたらポイントがもらえ、ポイントを集めたら特典がもらえるようにしたり、「子どもまちづくり会議」を開催して町の子どもたちに町の未来を話してもらったり。

ほんの一例だが、これらをやることによって、子どもも、高齢者も、ビジターも、みんながとにかくワイワイと活性化するような状況になり、最後にみんなで「おごせ割でカンパイ！」ができれば素晴らしいなと思います。

## 付属資料

### □開催日程

#### 第1回

日時 令和4年4月25日（月）  
内容 自己紹介



#### 第2回

日時 令和4年5月24日（火）  
内容 町に対する思いの意見交換



#### 第3回

日時 令和4年6月28日（火）  
内容 町の方針の共有

#### 第4回

日時 令和4年8月23日（火）  
内容 グループワーク



#### 第5回

日時 令和4年10月5日（水）  
内容 グループワーク、発表

#### 第6回

日時 令和4年10月25日（火）  
内容 意見書の確認、手交  
次年度の事業化について

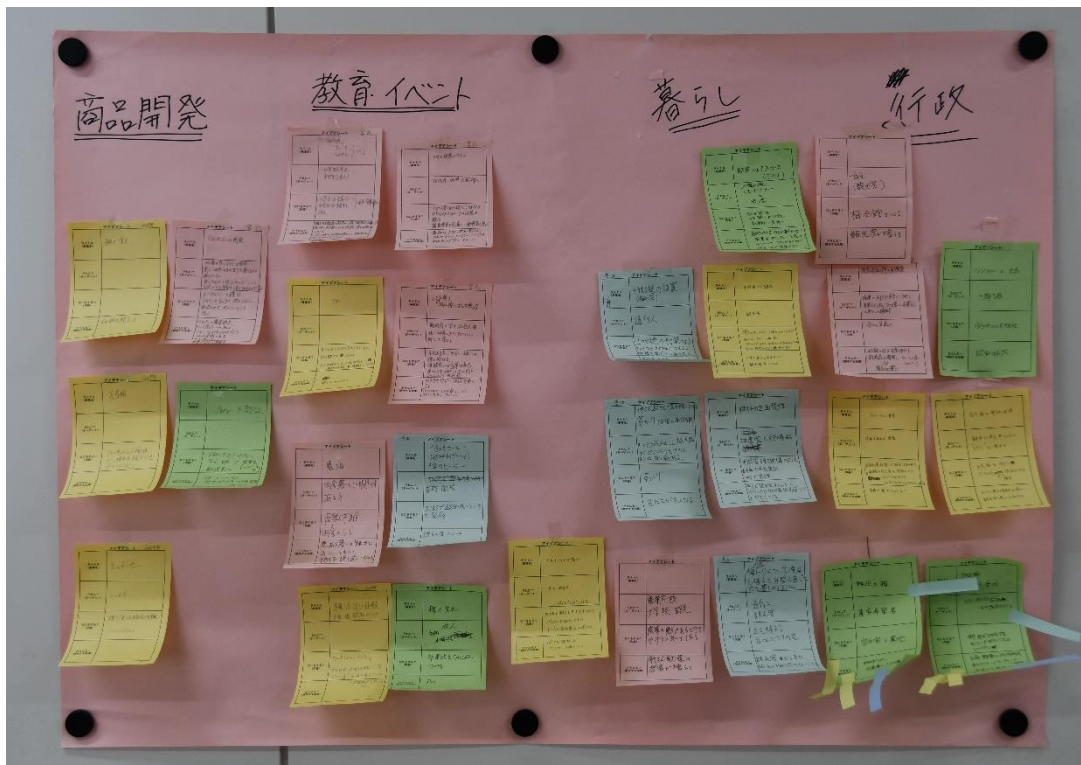
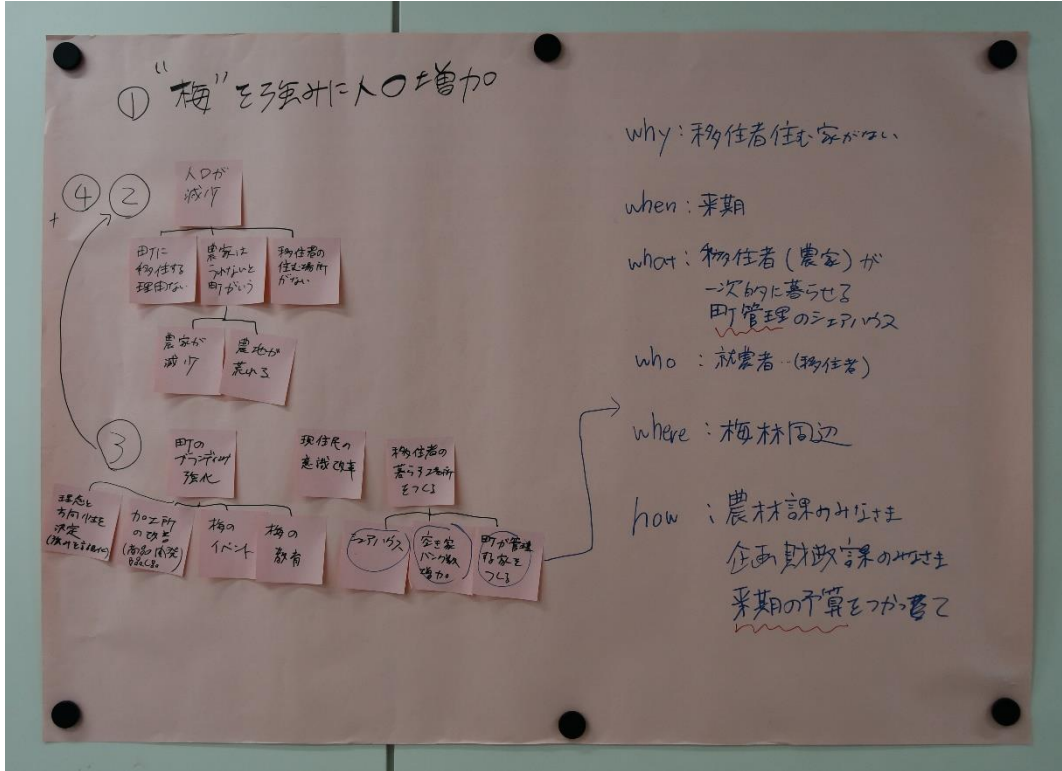


※P8,P10,P12 の各テーマの説明は、発表時の委員の発言をもとに編集したもので、可能な限り言葉、ニュアンスを変えずに記載しています。



# 梅によるまちのブランディング

メンバー：宮永委員長・山口(由)委員・山口(大)委員・佐藤委員・藤原委員・寺田委員



## 移住・定住促進


メンバー：島田副委員長・新井委員・安西委員・森本委員・荒川委員・石井委員

**おごせ Tiny House ビレッジ**

**[現状・課題]**

- ・土地がない
- ・物件がない
- ・仕事がない
- ・予算がない
- ・田舎暮らしがしたい
- ・気軽に移住したい

**[解決策]**  
おごせ Tiny House ビレッジをつくる



**[効果]**

- ・居住者増加
- ・越生町のPRにつながる
- ・魅力的な町になる

**[活用例]**

- ・賃貸で貸す
- ・コワーキングスペース
- ・ワーケーション
- ・イベントスペース

**イベント**

**住居**

**PR**

**支援**

**教育**

**観光**

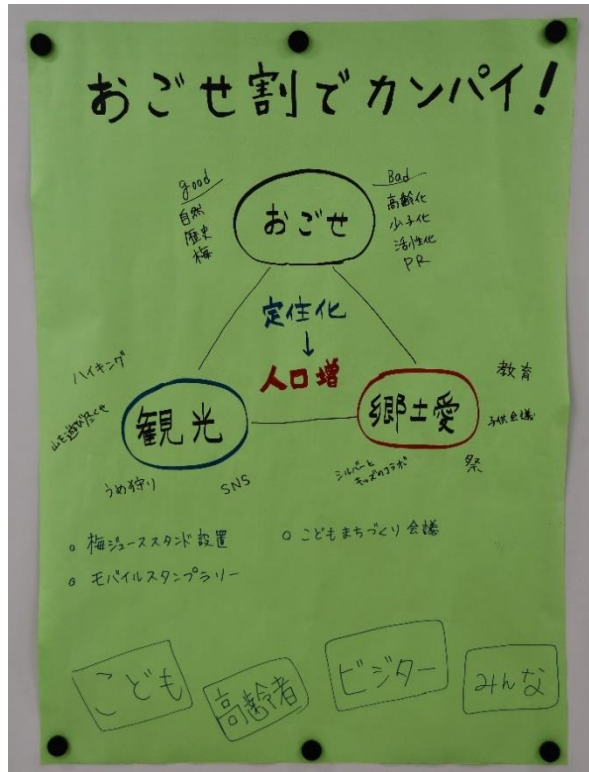
**教育**

**X-77**



# まちの魅力の最大化

メンバー：市川委員・酒本委員・杉浦委員・横田委員・宮島委員・鎌北委員



□ 委員名簿（五十音順・令和4年10月1日現在）

◎委員長 ○副委員長

氏 名
新 井 智 博
荒 川 舞
安 西 研 昌
石 井 志 奈
市 川 謙 吾
鎌 北 黎
酒 本 直 紀
佐 藤 麻 里 子
○ 島 田 豪
杉 浦 早 苗
寺 田 篤 哉
永 島 佳 奈 絵
藤 原 緑
宮 島 正 樹
◎ 宮 永 優 美
森 本 慶
山 口 大 郎
山 口 由 美
横 田 尚 也

## 越生町女性・若者まちづくり会議設置要綱

### (設置)

第1条 町の将来像である「みどりとせせらぎのまち越生～笑顔と活気に満ち 夢が広がるまちづくり～」の実現に向け、女性や若者の視点からの意見等をまちづくり施策に反映させるため、越生町女性・若者まちづくり会議（以下「会議」という。）を設置する。

### (組織)

第2条 会議は、委員20名以内で組織し、次に掲げる者のうちから町長が委嘱する。

- (1) 町内に在住または在勤する満18歳以上の女性
- (2) 町内に在住または在勤する満18歳以上満40歳未満の若者
- (3) その他町長が適当と認める者

### (委員の任期)

第3条 委員の任期は、委嘱の日から令和5年3月31日までとする。

### (委員長及び副委員長)

第4条 会議に委員長及び副委員長を1名置き、委員の互選によりこれを定める。

2 委員長は会務を総括する。

3 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるとき、又は委員長が欠けたときは、その職務を代理する。

### (会議)

第5条 会議は、委員長が招集し、委員長が議長となる。ただし、最初に行われる会議に限り町長が招集する。

2 委員長は、必要があると認めるときは、会議に委員以外の者の出席を求め、説明又は意見を聴くことができる。

### (庶務)

第6条 会議の庶務は、企画財政課において処理する。

### (その他)

第7条 この要綱に定めるもののほか、必要な事項は、町長が別に定める。

## 附 則

### (施行期日)

1 この要綱は、令和3年11月1日から施行する。

### (この要綱の失効)

2 この要綱は、令和5年3月31日限り、その効力を失う。